

ヒトパピローマウィルス(HPV)は男女両方に感染する、ごくありふれたウィルスです

- 低リスク型HPVに感染すると、尖圭コンジローマ((性器にできる良性のイボ)という病気になります
- 高リスク型では、持続感染すると子宮頸がん、中咽頭がん(男性に多い)、肛門がん、陰茎がんなどを起こします

HPVワクチンで、多くの子宮頸がんを防げます

- 主な感染ルートが性交渉ですから、初めての性交渉前に打つのが最も効果的です
- 17歳未満で打っておくと、将来の子宮頸がんを約9割も防げることがわかりました

定期接種対象者である女子(小学6年生から高校1年生)は、無料です

- 長野市から対象者宛に通知が届きます
- 指定医療機関に予約し、予診票と母子手帳を持参して接種しましょう

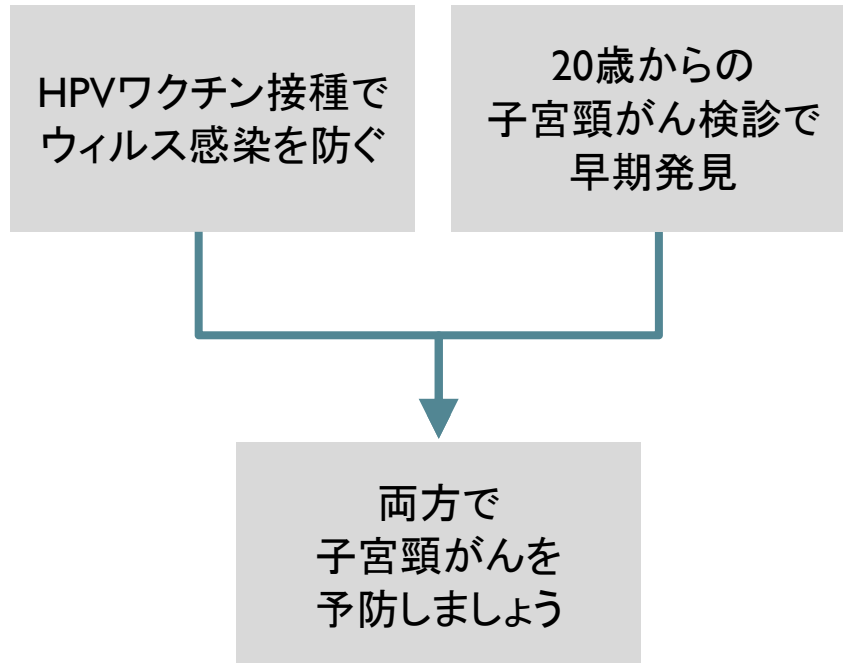
定期接種の機会を逃した女性(平成9年度から平成17年度生まれ)も、無料で受けられます

- 実施期間は令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間だけですので、早めに接種しましょう

男性もHPVワクチンを受けられますが、任意接種ですので有料になります

- 自分がこのウィルスによる病気にならないために、大切なパートナーを守るために必要なワクチンです
- 海外では、男子も無料で受けられる国が増えてきています

2. 子宮頸がん予防には、HPVワクチンと子宮頸がん検診の両方が必要です



● HPVワクチンには3種類あります

2価HPVワクチン

子宮頸がんを起こしやすいふたつの型(16型と18型)に対応しています

4価HPVワクチン

2価ワクチンの16型・18型に加えて、6型と11型(尖圭コンジローマの原因)にも対応しています

9価HPVワクチン

4価ワクチンに加えて、さらに31・33・45・52・58型(子宮頸がんを起こしやすい)にも対応しています

- 無料の定期接種で使えるのは、2価と4価のワクチンです
- 男性と、無料接種対象年齢以外の女性は、任意接種になりますので有料(約5~10万円)です